

商業

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
商業	ソフトウェア活用	2	3年次・H1群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
ソフトウェア活用（実教出版）		全商情報処理検定模擬試験問題集 1級ビジネス情報		・情報処理に興味関心のある者。 ・販売職、事務職を希望する者。 ・商業の推薦を利用して大学の経済学部・経営学部・商学部等への進学を希望、コンピュータ関係の専門学校への進学を希望する者。 ・資格取得を目指す者

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	1章 企業活動とソフトウェア活用 2章 情報通信ネットワークの活用	4	・企業の経営活動における情報の意義や役割について学習します。 ・コンピュータの仕組みやソフトウェアなどに関する知識を学習します。 ・情報を利用するルールやセキュリティ管理の方法を学習します。 ・表計算ソフト（Microsoft Excel）を操作して、表の作成や計算、グラフの作成が行えるようにします。	1 2 3
			5		1 2 3
			6		
			7		
	2 学 期	3章 表計算ソフトウェアの活用 4章 データベースソフトウェアの活用 5章 業務処理用ソフトウェアの活用	9	～重要～（必ず読んでください） ・学習の年間計画はあくまで予定です。情報処理を受講する生徒の能力、使用できる施設等によって変更することがあります。	1 2 3
			10		1 2 3
			11		1 2 3
			12		

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	3 学 期	総合演習（検定試験の過去問題を解く） 総合演習（これまでに学習した内容を基にいろいろな問題をします。）	1 2 3	・全商情報処理検定試験1級の合格に向けて学習します。 ・学習の内容に疑問等がある場合は、本総合学科棟3階総合デザイン準備室に質問に来てください。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識や技術を身に付けているか。	○適切な手段を用いて情報を収集 ・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなど創意工夫しているか。		○観点別学習状況の評価を通してはかる。 ○企業活動を改善する力の向上を目指して自らソフトウェアの活用について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、企業活動における表計算ソフトウェア、データベースソフトウェアなどの活用に関心をもって取り組んでいるか。
	手 段	・定期考査、実習 ・検定試験	・授業中の質問に対する応答 ・定期考査 ・検定試験		・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・考査は年2回実施。各回とも考査点70％、平常点30％で成績を評価する。 ・平常点は、授業態度、提出物の状況、検定試験の結果による。		
学習上の留意点	・授業の進度が速いので、毎時間の授業を大切に学習しましょう。 ・新しく学習し、実習が多い科目です。欠席すると授業についていけなくなります。 ・9月、1月（全商）の検定試験で情報処理検定1級の合格を目指します。 ・検定試験代、諸費等で年間3,000円程度必要です。				